



KOURAKUEN  
HOLDINGS



平成 28 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 幸楽苑ホールディングス  
 代表者の役職名 代表取締役社長 新井田 傳  
 (東証第一部 コード番号 7 5 5 4 )  
 問い合わせ先 専務取締役 武田 典久  
 T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1  
<http://www.kourakuen.co.jp/>

## 特別利益及び特別損失の計上、第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値 との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の決算におきまして、特別利益及び特別損失を計上するとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日に公表いたしました第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせ申し上げます。

### 記

#### 1. 特別利益及び特別損失の計上について

平成 28 年 3 月 31 日に公表いたしました「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成 28 年 3 月期の連結通期決算において、当社の連結子会社である KOURAKUEN (THAILAND) CO., LTD. の解散に伴う減損損失及びその他解散に伴う損失額 264 百万円（関係会社整理損失引当金繰入額）を全額特別損失として計上いたしましたが、当第 2 四半期累計期間におきまして、同社の一部の店舗及び工場設備を現地法人へ売却した結果、特別利益として 64 百万円（関係会社整理損失引当金戻入額）を計上することになりました。

また、平成 28 年 3 月期の個別通期決算において、同社への貸付金 752 百万円（関係会社整理損失引当金繰入額）及びその他の損失額 7 百万円（関係会社出資金評価損）を全額引き当てし特別損失として計上いたしましたが、当第 2 四半期累計期間におきまして、同社への追加出資及び貸付金の一部を回収した結果、特別利益として 232 百万円（関係会社整理損失引当金戻入額）、特別損失として 175 百万円（関係会社出資金評価額）をそれぞれ計上することになりました。

#### 2. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異について

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

##### (1) 連結業績予想値と実績値との差異

(単位：百万円)

(単位：円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	19,350	558	672	327	19.93
実 績 値 (B)	19,476	625	767	560	34.24
増 減 額 (B-A)	126	66	94	232	—
増 減 率	0.6%	11.9%	14.1%	70.8%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	19,252	356	312	38	2.34

## (2)個別業績予想値と実績値との差異

(単位：百万円)

(単位：円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	6,769	617	384	23.38
実績値 (B)	7,328	824	591	36.18
増減額 (B-A)	558	207	207	—
増減率	8.2%	33.5%	53.9%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	12,930	208	51	3.14

(注) 当社は、平成27年7月1日を効力発生日として、吸収分割方式による会社分割を行い、持株会社体制へ移行しております。

## 3. 平成29年3月期通期業績予想の修正について

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## (1)連結業績予想の修正

(単位：百万円)

(単位：円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	38,290	1,052	1,149	577	35.10
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	38,206	874	858	133	8.12

## (2)個別業績予想の修正

(単位：百万円)

(単位：円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,474	1,008	642	39.08
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	20,077	770	△172	△10.52

(注) 当社は、平成27年7月1日を効力発生日として、吸収分割方式による会社分割を行い、持株会社体制へ移行しております。

#### 4. 差異及び修正の理由

##### 【第2四半期（累計）】

###### （連結業績）

売上高につきましては、国内直営新規出店は計画 18 店舗に対して実績 18 店舗となり、既存店売上高前期比も計画 98.6%に対して実績 98.6%となり、当初計画とおりに推移いたしました。

利益面につきましては、時給アップ等により人件費は増加いたしました。また、原価低減、新電力への切り替え及びLED導入等によるエネルギーコスト低減等により、営業利益・経常利益は当初計画を上回る結果となりました。また、上記の特別利益の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても当初計画を上回る結果となりました。

###### （個別業績）

グループ内取引の増加により、売上高・経常利益ともに当初計画を上回る結果となりました。また、上記の特別利益及び特別損失の計上により、四半期純利益につきましても当初計画を上回る結果となりました。

この結果、前回公表の第2四半期累計期間の業績予想に対して、連結・個別ともに差異が発生いたしました。

##### 【通 期】

平成 29 年 3 月期の連結業績予想につきましては、店舗での異物混入による問題の影響で売上高の減少が予想されること、お客様の信頼を回復するための再発防止対策費用等の増加等により、前回公表いたしました連結業績予想の達成に多大な影響が生じる見込みであります。本日現在、当問題の影響を合理的に見積もることができないため、平成29年3月期の連結業績予想を未定としております。

当社は、食の安全を何よりも重要なこととしてお客様が安心できる商品の提供と業績回復に全社を挙げて全力で取り組んでおり、公表が可能となった時点で速やかに、連結業績予想をお知らせいたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上